

古賀市議会議員 子どもたちの夢がかなう まち

〒811-3114
古賀市舞の里2-15-21
TEL/FAX 092-944-3773

森 まき NEWS

2025年7月 vol.09



6月（6/10～6/25）議会 議案と一般質問

給食費の公会計化 実現

学校給食費の徴収・管理、督促等の事務は、学校の教職員が担い、私会計で処理されてきました。教職員の負担軽減、給食費管理の透明性の向上、徴収・管理業務の効率化、保護者の利便性向上などと合わせ、将来の学校給食無償化にも備える他、家庭経済の困窮などにも対応し子どもたちの安心と希望を支える学校給食へ公会計化が実現しました。

2020年からこの問題を取り上げてきましたが、本年9月1日から実施されます。これらの業務を担う学校給食センターの体制の充実も求めました。【2ページに関連記事（補正予算）】



公会計化

学校給食の経費（給食賄材料費）は、学校給食法により 学校給食を受ける児童又は生徒の保護者の負担とするとされ、徴収されています。徴収や管理は私会計（準公金）で取り扱われ、市の予算や決算には含まれていませんでした。（県下のセンター方式の約半分が公会計化されている）

公会計化により、予算・決算で示され透明性が向上する他、業務が移管され教職員の本来の仕事である子どもと接する時間の充実ができ、給食の質が保証されるなどが期待されます。

「創造性を生かす遊び場」の実現を（プレーパーク）



市民体育館移転予定の千鳥が池公園グラウンド

公園に新たな魅力を付加することを目的に公園の再整備を行う公園再整備計画が作成され、5月にはパブリックコメントが行われました。公園は乳幼児から高齢者まで幅広い世代が利用し、親しまれる大切な空間です。

市民や利用者の意見や要望の把握、サービス提供の状況や見込み、子どもたちの「創造性を生かす遊び場」の導入について検討状況を質問しました。

これまで提案してきた子どもたちの「創造性を生かす遊び場」づくりについて、市長は「プレーパークのような空間を創出したい」と答弁しました。

利用者や市民の意見や要望を踏まえ乳幼児から高齢者まで幅広い世代が利用し、親しまれる公園整備を求めました。【2ページに関連記事（森まきの一般質問）】

補正予算

一般会計では学校給食費公会計化に伴う賄材料費など1億8千9百万円余りを補正しました。

給食費の公会計化に1億8千万円

公会計化に関する学校給食条例の制定に伴い、2025年9月1日から年度末まで7か月の児童生徒の保護者等より徴収した学校給食費(歳入)、給食材料を購入するための賄材料費(歳出)を計上し、一般会計で管理するための補正をしました。

(今年度は関連事務等の整備などを進め、2026年度から本格実施の予定。)



北九州市から水道水を購入

浄水場の廃止に伴い北九州市から水道水4,000t(日量)を追加購入する費用と、浄水場の停止で不要になる電力・薬剤の減額などを含め、5,600万円の増額補正をしました。

7月1に廃止予定で供給が開始されると自己水源はなくなります。



廃止される古賀市浄水場

古賀東中学校体育館にエアコン

施設の耐久性・安全性の確保、外構を整備し、建具・家具・床改修等をおこない学習環境の向上を図る他、古賀市で初めての体育館の空調設備新設(ガス式)や、トイレ全面改修(「みんなのトイレ」拡充を含む)等を行います。

体育館のエアコン設置は、今後3年で市内11小中学校の整備を進めます。令和7年度は古賀東中、小野小、花鶴小の3校。令和8年度は古賀中、古賀北中、青柳小、古賀東小の4校の整備を予定し、残る古賀西小、千鳥小、花見小、舞の里小についても令和9年度までに整備を完了する予定です。



古賀東中学校体育館

森 まきの一般質問

公園に新たな魅力を付加することを目的に整備を行う「公園再整備計画」と、今年は戦後80年、「古賀市恒久平和都市宣言」は40年を迎えることから「未来につなぐ平和行政」について質問しました。

市民に親しまれ利用される 公園・施設の整備を

森 公園再整備計画の住民Webアンケート結果は、10代は4人、小学生の意見はないようです。利用も多い10代や小学生など、子どもたちへの聞き取りも必要ではないか。

市長 子どもの声をしっかりまちづくりにつなぐことは重要、取り入れる場を設けたい。

森 樹木も公園には大切な要素で、温暖化にも留意し樹木を残し使いやすい公園にするべきでは。

市長 都市公園の整備に当たって、樹木など過ごしやすい環境も念頭に置いて考えたい。

森 「プレーパークのような空間を創出」という答弁があった。どのような検討がされているか。

市長 今回の公園再整備では、プレーパークが実施できるような環境をつくることを念頭に置き進めたい。

森 千鳥が池公園多目的グラウンドに市民体育館を移転、多目的グラウンドの機能は小野公園、古賀グリーンパークへ移転する他、市民グラウンドを駐車場とする構想もある。特に市民グラウンドは数少ない市街地の施設で、その機能を残す検討を行っていただきたい。

市長 御意見として受けとめたい。

公園・施設の整備に説明と意見聴取を



古賀市公園再整備計画案より

森 プレーパークにはリスクやハザードを管理する人材が必要。育成に取り組んではどうか。また、開催に必要な用具の保管場所をはじめ、遊具の整備、維持管理などの支援も検討してほしい。

市長 子どもの居場所を支え・見守る存在としての大人が大事。スキルを持つ人が必要で、今後できることが何かを探りたい。

プレーパークとは？

プレーパークとは、従来の公園と違い、あらかじめ設けられた設備や遊びのプランに縛られず、子どもが自由に発想し遊べる場所です。自然豊かな環境の中で、乳幼児から高齢者までが交流するコミュニティの場としても機能しています。

子どもたちは思い切り体を動かしながら、地域の大人たちに見守られ、仲間と協力し、遊び、成長していきます。スタッフである「プレーワーカー【子どもが自由に遊べる場を作る支援や見守りをする人】」は、子どもの自由な遊びを支援し、必要に応じて相談相手にもなります。こうしたプレーパークは、災害時の防災対策や地域連携、貧困やネグレクトの早期発見など社会的役割も担っており、福岡県内では26か所に設置されています。

森 大規模自然災害も想定され公園は防災拠点としても重要です。リーパスプラザは浸水想定区域に入っておらず、施設には畳の部屋、施設の外には手洗いやトイレも備えられ、市民グラウンドや既設駐車場もある、検討しては。

市長 臨機応変に対応したい。リーパスプラザこがも活用すべきと判断するときはもちろん活用する。



工夫して遊びを作りま〜す

創造性を活かす公園に

90年、100年、未来につなぐ平和 行政を

森 歴史資料館の戦争に関連した資料展示はどのくらいか。

教育部長 展示資料は500点ほどを保管している。戦後80年の本年は7月から9月まで。青柳村兵事文書関係資料を中心に企画展を開催する予定。

森 各中学校には地域開放室がある。こうした施設を活用し戦争に関連する資料の展示をすれば継承にもなる、検討しては。

教育長 学校の大規模改修時に余裕教室等を中村哲さんの資料館や、展示室にしていこう構想を持っている。

森 歴史資料館の展示資料に理解が進むようQRコードをつけ説明が聞けるようにするなど保存資料を活用しては。

教育部長 今後、歴史資料館のリニューアルの際などに設置を検討したい。

森 古賀市ホームページから平和市長会議のインターネット署名ができる。昨年提案したQRコードつきの懸垂幕の実施をしては。

総務部長 8月の被爆戦後80年戦争と平和を考える月間のイベントのパネルを展示に、署名活動に賛同される方がアクセスしやすいように、QRコードの掲載を予定している。

森 子どもたちから平和のバスデザインを募集し、コガバスのラッピングを行うなど、戦後80年の企画してはどうか。

市長 面白いと思う。メッセージを発信するツールとして、コガバスなど公共交通機関は有用である。

森 今年40年を迎える古賀市の非核恒久平和都市宣言の内容を児童生徒の平和授業や市民に紹介していただきたい。

教育長 学校の平和授業の中でも活用したい。

非核恒久平和都市宣言

私たちは世界唯一の被爆国として、全世界の人々に非核三原則の堅持とあらゆる核兵器の全面廃絶を訴え、人類の生存・恒久平和にむけて貢献する決意を表明し、ここに非核・恒久平和都市を宣言する。

1. わが古賀町内では、核兵器の生産・貯蔵・配備を認めない。
1. わが古賀町内では、核兵器に関する軍事行動・軍事演習も許さない。
1. わが古賀町内の地上・上空のいずれでも、核兵器及び軍事用途の核物質の通過を認めない。
1. 軍事用途以外の核物質は、議会及び自治体の許可なしには古賀町区域内を通過させない。
1. 古賀町は、いかなる状態においても核戦争に協力する作業を行わない。
1. この決議を自治体は遵守し、住民への徹底をはかる。

昭和60年6月20日



活動報告 と お知らせ

公共交通の維持確保は課題

西鉄バスは4月1日から全4路線で便数を約90便から70便程度に減便。のるーと古賀は、4月から2台から1台に減便。一方、コガバス小竹線は利用者数が増加しています。

小竹区や青柳区では、今後も周知や説明会を実施予定です。高齢化や人口減少が進む中、地域住民の声を活かした公共交通が実現されるよう今後も求めています。



あじさい園「のびのび」を訪問

あじさい園は、古賀市で精神疾患（発達障がいを含む）や不登校・引きこもり状態の方、そのご家族の相談や就労支援（作業）、居場所づくり、啓発活動などの支援をされています。

学生時代に不登校だった子どもたちが急に高校生になっても学校へは通えません。社会に出るまで伴走型の支援が必要です。代表の山下さんから、「ご本人や保護者の方も1人で悩まず、気軽に訪問してくださいね」とメッセージを頂きました。とても温かい場所です。ぜひ、足を運んでみてください。



戦後80年 平和な世界実現に20キロを行進

沖縄の5.15平和行進に参加しました。嘉手納基地周辺を6時間平和を訴え歩きました。きれいな海も広大な自然もすべて米軍が所有していて、米軍基地を過ぎると住宅の密集地が続きます。

沖縄が日本に復帰して53年が経ちますが、未だに不平等な地位協定で苦しめられている沖縄。米軍基地があるために起きている犯罪・事故や騒音・環境汚染・新基地建設問題など、問題は山積みです。

古賀市は非核・恒久平和都市を宣言し、6月20日で40年を迎えました。一般質問でもその目的が前進するよう継承などに取り組み、子どもたちが戦争や核兵器の無い安心して暮らせるまちとなるよう強く求めました。平和について皆さん一緒に考えていきましょう。



全国の参加者と平和行進を行いました

政務活動費 報告

年間12万円の活動費を研修費や広報費、広聴費、事務用品費を議会活動に活用しました。詳細は古賀市HP『市議会』で閲覧できます。

2024年度政務活動費 報告

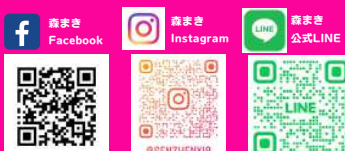
項目	金額(円)
調査研究費	3,000
研修費	
広報費	57,129
広聴費	2,500
資料作成費	
資料購入費	4,320
事務費	67,242
支出合計	134,191

『こども計画 こども版』できる!!



3月議会の一般質問で『古賀市こども計画』について、当事者の中学生から出た「子ども用のわかりやすいパンフレットを作り授業等で取り上げてほしい」という声を伝えたとこ、この7月『古賀市こども計画 こども版』が作成され子どもたちへ配られました！今後も「子どもたちのためのこども計画」を見守りたいと思います。

みなさまの声をぜひ『歩くご意見箱 森まき』へお聞かせください。



HUGっこ

子ども食堂「たまりんば」

「たまりんば」公式アカウント
食材の提供、ご支援はこちらまで↓



職場での困りごと悩みごとなど1人で悩まずここへ相談
まずはお電話で。
ふくほくユニオン
☎092-719-1980
(相談無料)